

1 事業概要

課名		経営管理課	事業No.	386
会計		水道事業会計		
事業区分		経常	実施区分	継続
開始			終了	
事務事業名		水道事業経営基盤向上事業		
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称
	戦略計画			
	分野別計画			飯田市水道ビジョン
				飯田市水道事業経営戦略
	法令・例規等			地方公営企業法
事業目的		対象	水道事業会計・簡易水道事業会計	
		意図	適正な収益の確保、経費の節減により、安定した経営を継続する。	

2 事業内容

30年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	平成29年度に会計統合（地方公営企業法適用化）した簡易水道事業の初めての決算を行いました。簡易水道事業は中山間地域を給水区域としていることから、もとより厳しい経営体質ですが、上水道も含めた水道事業全体で安定した経営をしていく必要があります。							
	次年度予算については「飯田市水道ビジョン」及び「飯田市水道事業経営戦略」をもとに、リニア関連事業にも対応した予算編成を行いました。							
							0	
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	
	経常収支比率	%	111.2	109.2	111.2			
30年度 決算 (千円)	予算額	0	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	0						
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	0					
	一般財源	0						

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1									
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振り返り課題認識	経常収支比率は目標値を達成することができましたが、人口減少等の要因により水道事業、簡易水道事業ともに料金収入が減少傾向にあり、また老朽化施設への対応も増大していくことから経常収支比率の低下が懸念されます。								
上記の課題解決のための有効策	水道事業、簡易水道事業の現在の経営状況を的確に把握し、今後行うべき老朽化対策などについて長期的な展望のもと計画的に行っていく必要があります。								
次年度に向けての取り組み	令和元年度は飯田市水道ビジョン、飯田市水道事業経営戦略のローリングの年です。今後行うべき老朽化対策などの投資計画及びその財源、料金収入などを適正に見込み、安定的な経営を続けられるようそれぞれの計画を見直します。								